

CILとちぎ 通信

第25号 平成30年9月3日発行



2018.7.23 北関東CIL交流会

- | | | | |
|-----------------------------------|---|--------------------------------|----|
| ・「医療的ケアの必要な人の地域生活について」の講演会 報告 | 2 | ・30年度 重度訪問介護 従業者 養成研修 | 8 |
| ・「医療的ケアの必要な人の地域生活について」の講演会に参加して① | 3 | ・共同連東北7県交流会 & 共同連7県に於いて | 9 |
| ・「医療的ケアの必要な人の地域生活について」の講演会に参加して② | 3 | ・白内障だった私 | 11 |
| ・「医療的ケアの必要な人の地域生活について」の講演会に参加して③ | 4 | ・北関東CIL交流会 | 12 |
| ・「医療的ケアの必要な人の地域生活について」講演会 アンケート報告 | 5 | ・8.20被災障害者救援同時多発いっせい街頭募金を行いました | 14 |
| ・チームかなこさんから本が届きました | 7 | ・宇都宮駅周辺のバリアフリーホテルご紹介！第2弾♪ | 15 |
| ・CIL とちぎホームページをリニューアルしました | 8 | ・CILとちぎバーベキュー大会 開催決定 | 16 |

とくていひえいりかつどうほうじん じりつせいかつ
特定非営利活動法人 自立生活センターとちぎ

とちぎけんうつのみやししもぐりまち
〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア 103

でんわ
電話・FAX：028-638-2538 E-mail：ciltotchigi@silver.plala.or.jp

URL：https://www.ciltotchigi.org/ **リニューアル!**

「医療的ケアの必要な人の地域生活について」講演会 報告

さいとう やすお
齋藤 康雄

いりょうてき ひつよう ひと ちいき
「医療的ケアの必要な人の地域
せいかつ こうえんかい がつ にち
生活について」講演会を6月3日
うつのみやしひがししみんかつどう
に宇都宮市東市民活動センターで
かいさい めい さんかしゃ おこな
開催し72名の参加者で行われ
た。



チームかなこさん講演会！

おおさかけいざいほうかだいがく たいへいよう
大阪経済法科大学アジア太平洋
けんきゅう きゃくいんけんきゅういん いちき
研究センター客員研究員 一木
れいこさま ちいきせいかつ
玲子様から「地域生活とインクル
ーシブ教育」というテーマで講演

いただき しょうがいしゃけんりじょうやく ふ ちいき せいかつ けんり いしけつてい
を頂き、障害者権利条約を踏まえて、地域で生活する権利、意思決定
しえん せつめい
支援について説明された。

きたむらかなこ やまざきひでこ きたむらけいこ か
北村佳那子さん、山崎秀子さん、チームかなこさん、北村恵子さん（佳
なこのおあさん）からは、とうじしゃ しえんしゃ かそくがわ たちば はなし
那子さんのお母さん）からは、当事者、支援者、家族側の立場から話をい
ただき、かなこさんは、げんご いしひょうしゅつ むすか ひょうじょうなど よ
み取り意志を確認するやり取りをされながらご講演して頂きました。ま
た、やまざき いしけつていしえん ほうほう き
た、山崎さんやチームかなこさんからは、意思決定支援の方法などを聞
きました。しえんしゃ い まいかい と いしけつてい
支援者は、こう言われているかな？と毎回、問いながら意思決定
の支援をされていること。かそく しんらい いっき すす すこ つ
重ねから信頼されたことなど大変学びの深いものだった。ははおや おや
母親からは、親
な あと かんが いま たいせつ
亡き後を考えるには、今のうちからゆだねることが大切であり、また、
ちいき しょうがっこう かよ かたがた つな
地域の小学校に通いそこからいろんな方々との繋がりがあり、そこから
おうえんだん う の
応援団が生まれたと述べられていました。

いりょうてき ひつよう ひと ちいきせいかつ こうえんかい さんか
「医療的ケアの必要な人の地域生活について」の講演会に参加して①

うつのみやだいがく さとう あやか
宇都宮大学 佐藤 綾香

かなこ さんが せいど こ いっぱんがっこう つうがく
佳那子さんが制度を越え一般学校に通学
したことや生活の様子などを拝聴し、
かなこ さんの い かた かんめい う
佳那子さんの生き方に感銘を受けました。
どうじ しょうがい しせつ とくべつがっこう かよ
と同時に障害により施設や特別学校に通
わざるを得ないという偏見をなくし、健
じょうしゃ とともに ちいき がっこう せいかつ
常者ととも地域で生活するなど
自分で意思決定できることが「当たり
まえ」になるべきだと気づかされました。



かなこ さんに なに た
佳那子さんに何を食べるか
き いて いる さとう
聞いている佐藤さん

そして、その せんたく の ベース を 作り 上げる
ことが インクルージョン に 繋がる の ではない か と 思い ました。 また、 かなこ
さんの 意思 疎通 の ため に 細 やかな 表 情 の 変化 を 見 逃 さ ず、 曖 昧 な 際 に は
しゅうい はな しんし む あ すがた かんどう
周囲で話し真摯に向き合う姿に感動しました。

いりょうてき ひつよう ひと ちいきせいかつ こうえんかい さんか
「医療的ケアの必要な人の地域生活について」の講演会に参加して②

うつのみやだいがく あいざわ ちはる
宇都宮大学 相澤 千春

きたむら かなこ ちいきせいかつ き しゅうい しだい
北村佳那子さんの地域生活についてお聴きし、周囲のサポート次第で
しょうがい う む かか おな ちいきせいかつ おく じっかん
障害の有無に関わらず同じように地域生活を送れるのだと実感しました。
じぶん けいけん ひ かえ とし かせ しょうがい かた せいかつ じかん
自分の経験を振り返ると、歳を重ねるごとに障害のある方と生活する時間
が 減 っ て い た こ と に 気 づ きます。
しかし、 かんが なら なければ しょうがい りかい すべ ひと
が 自然に 共生 できる 地域 づくり を し て い く 必要 があります。 その ため に 自
ぶん なに できる か、 かんが えて い け た ら と 思い ます。

いりょうてき ひつよう ひと ちいせいいかつ こうえんかい さんか
「医療的ケアの必要な人の地域生活について」の講演会に参加して③

うつのみやだいがく みやさか まや
宇都宮大学 宮坂 真耶

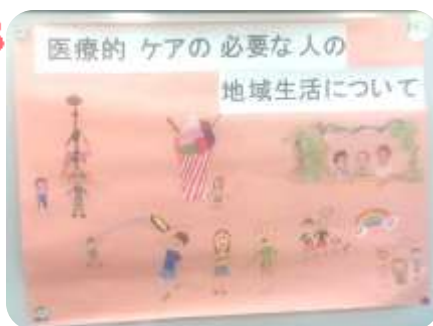
こんかい こうえんかい
今回この講演会で「チームかなこ」を知るまで、地域に医療的ケアが
ひつよう かつ く かんが
必要な方が暮らしていることを考えてもみませんでした。かなこさんは
がっこう い ともだち
学校へ行き友達もいる、そんな当たり前のような生活を、様々な困難を乗
り越えながら手にしてきたのだと感じ取りました。

また、かなこさんだからこういった生活ができるのではなく、幼い頃から
しゃかい で しゅうい ひと いりょうてき どうじに しゃかい い
社会に出ていたから。周囲の人が医療的ケアと同時に「社会で生きる」
しえん じゅうよう おも
支援をすることが重要だと思いました。



きねんしゃしん
《チームかなこさんと記念写真★》

みねまち きょうかい こども
峰町キリスト教会の子供たち
か
が書いてくれました！



いりょうてき ひつよう ひと ちいきせいかつ
医療的ケアの必要な人の地域生活について

かんそう
～感想アンケート～

①くに せいど ととの なか しょうがい かた はい こと
国が制度を整えていない中に障害がある方が入っていく事はすごく
たいへん こと おも しょうがい かんけい
大変な事だと思ひます。それでも、障害があるなしに関係なくいろんな
こと ちょうせん せいかつ たの ひとたち
ことに挑戦し、生活を楽しみたいくさんの人達とつながっていける、
かな こ すば おも とも い よ なか
佳那子さんは素晴らしいと思ひました。共に生きる世の中をこれからも
っと広げていけるよう、私も少しでも協力していきたくと思ひます。
かいご いるょうじゅうししゃ
(介護・医療従事者)

②たくさんしゃべる、ということのたいせつさがわかりました。
いけん ちが なか なに ひと き ひつよう
意見の違いもある中、何か一つ決める必要があるときどうされているの
かき になりました。でも、きっとそういうやり取りをへてつよ
強いチームにな
っているんだらうと想像します。介助者見つかりますように！ありがと
うございました。(かいごしよくいん
介護職員)

③いりょうてき ひつよう こ かか こんご じもとがっこう
医療的ケアが必要なお子さんと関わっており、今後どうすれば地元学校
に行けるか悩んでいます。制度の問題などあり困難もありますが頑張らう
と思ひました。(医療従事者)

④じぶん こと じぶん き さいにんしき
自分の事は自分で決めていいんだ、と再認識しました。ありがとうございました。
(とうじしゃ
当事者)

⑤やまざき かな こ おも いし と かた はなし き ひび
山崎さんの佳那子さんへの思いや意思のくみ取り方のお話を聞き日々の
じぶんじしん しえん かか かた あらた かんが はなし むすか
自分自身の支援や関わり方を改めて考えさせられました。お話が難し
い方と関わっている際にご本人の意思が理解できないときが多いです。そ
んななかでも、こうかな？あれかな？と悩みながらやってきました。また
あした みなさま おも がんば おも かいご
明日からチームかなこの皆様を思いながら頑張りたいと思ひます。(介護

しよくいん
職員)

⑥地域で生きることを基本として考える、お互い共に育つため作り上げていくとこを体験していく。地域で生きる事を当たり前になること、出会いはお互いを育てるという事を感じた。外に出ることで出会いを広げるその積み重ねがインクルーシブという事を学びました。(その他)

⑦地域の中で自然に生きていけている話が聞けて良かったです。かなこさんの魅力が山崎さんをはじめとしたスタッフをひきつけているのではないのかなと思います。出会えるきっかけをつくっていく必要性を強く感じました。ありがとうございました。(相談員)

⑧これはできないだろうと決めつけてしまうと何もできないつまらない人生になってしまうが、これをやらせてあげたい、やりたいと思っているだろうと思えば可能性は無限に広がるのだと思いました。
(医療従事者)

⑨多くの方が障害のある人と会うことが地域社会を変える第一歩なんだなあ…と感じました。(医療従事者)

⑩生活する事、学ぶ事、全ての人に与えられた権利であり、そのために助けを必要とする人と助けてあげられる人が協力できる社会であってほしい。そのためには子どもの頃から当たり前と一緒に過ごす時間、学ぶことは大きな意義があると思います。かなこさんの歩んできた生活の記録を多くの人に知ってもらいたいと思いました。(同じように医療ケアを必要とする子どもの学校のために奮起しているママさんたちに知ってもらいたい)(相談支援専門員)

⑪佳那子さんのように、その人の周りに共に生きたい・生きる人が集まってくる事「チームかなこ」は私にとってとっても理想的な暮らし方、生き方だと思います。誰かが仕組んでできるものではないし、そういうものではないのだろうと思うので、私は佳那子さんから大切な事を教えても

らいながらも私としてどうやるかを考えて頑張っていこうと思います。
また会いましょう！！ありがとう。（事業所を運営する法人の職員）
⑫佳那子さんの地域生活の様子を知り、とても感動しました。「意思決定」
は誰でもができる！その通りだと思います。医療ケア+重度知的の息子も
できます。職員として、親として、「意思決定支援者」として頑張りたい
です。栃木は資源がまだまだ足りない…。（制度の問題なのかな？）考え
させて頂く事がたくさんありました。（家族・介護職員）

チームかなこさんから本が届きました！

さいとう やすお
齋藤 康雄

自立生活センターとちぎの講演会に来て下さった北村佳那子さん、恵子
さん、山崎さん、チームかなこのメンバーさんから、はがきや hotobook
を頂きました。ありがとうございます😊

DPI総会の出会いが、1年後に講演会に来てくださったという出会い！
外に出ないと出会いは、無かったし、繋がりも得られなかった。

ひとつひとつの出会い

を大切にして、多
くの方々との繋が
りをもっと持ちた
いと思う。また、
何処かでお会いで
きる日を楽しみに
しております。



CILとちぎホームページをリニューアルしました❀

ホームページをリニューアル致しました！

<https://www.ciltochigi.org/>

facebookもおこなっておりますので

是非検索してみてください☆



あたら 新 しいホームページを開設するにあたり、ロゴも完成いたしました！



‘i’は自分で立っている様子
‘ぎ’は樹木をイメージしてしっかりと立っている所を作ってもらいました。

今後も、どんなに重度の障害があっても地域で生活できるように支援してまいります！



30年度 重度訪問介護 従 業 者 養 成 研 修

30年度第一回目の重度訪問介護 従 業 者 養 成 研 修 を 6月 に 開 催 致 しま した！ 今 回 は 4名 の 方 が 受 講 さ れ ま した。 受 講 者 の 声 を ご 報 告 致 し ま す。

- 普段支える側に立つが、支えられる側に立ってこそ利用者さんの心情が分かった。
- 今まで何も知らなかったボディメカニクスを学んで、人が動く、人を動かす際に重心がとても重要なのだと分かりました。また介助者の介助の仕方次第で利用者の症状を和らげることも悪化させてしまうことも、あるという責任はいつも心に留めておかなければならないと感じました。
- 実際に車いすで外出してみても小さな段差を越える際も配慮が必要であることや、いつも暮らしている風景がどんな風に見えるのかを知ることが出来ました。



共同連東北ブロック交流会 & 共同連マラソントークに参加して

くまさか さとし
熊坂 聡



6月16日に仙台でおこなわれた
「共同連東北ブロック交流会 &
共同連マラソントーク」に初めて
参加させていただきました。

共同連とは、「差別とたたかう
共同体全国連合」の略称で、
以前は障害(とりわけ重い障害)が

あると働きたくてもその機会が少なく、与えられない人もいたそうです。

1970年代初頭より、自主的に全国各地に障害のある人とない人が共に
生き働く場が作られ始めたようです。時期を同じくして、各地に小規模

さぎょうじょ い はたら ば せいかつ こうりゆう ば ぷんきゅう
作業所と言われる働く場や生活・交流の場が普及してきたそうです。

きょうどうれん かか とも はたら ば しょうきぼさぎょうじょ ちが
共同連が掲げる「共に働く場」と「小規模作業所」との違いは

しょうがいしゃ けんじょうしゃ きょうどう はたら
1. 障害者と健常者が共働で働き

しょうがいしゃ ろうどうけん かくりつ めざ
2. 障害者の労働権の確立を目指すことにある

ことだそうです。

こんかい きょうどうれん めい う はし
今回、共同連マラソントークと銘打たれていたのですが、走るマラソン
ではなく、共同連に参加され、実際に働かされている就労の管理者の方々が
お話しくださいました。ある飲食店では、障害をお持ちの方をスタッフ
と呼び、一緒に活動される方をパートナーと呼ばれているとのことでした。
ここで技術を習得し、一般就労に移行されている方もいらっしゃる
とのことでした。お話を聞きしていくなかで、小規模作業所で指導員が教
えるのも一つのやり方だけど、その方(障害をお持ちの方)に寄り添って技
術を習得し、一緒になって造り上げていけるといってお話にとっても感銘を
受けました。

し かし 問 題 も あり、 技 術 を 習 得 し 一 般
就 労 に 移 行 し た 後、 現 場 で の 適 切 な サ ポ ー ト
を 受 け ら れ ず に 体 調 を 崩 さ れ た り、 お 仕 事 が
上 手 く い か ず に 続 か な い と い う 方 も い ら っ し
や る よ う で す。

こんかいさんか
今回参加させていただき、いろんな
支援・関係作りのやり方を学びまし
た。一つの支援をして終わり。ではな
く、その後どのようになったか、適切
な支援だったか常に考え、どのような
サポートが自分に出来るのかを考えさせられた1日になりました。



はくないしょう わたし 白内障だった私

はこいし みつこ
箱石 充子

わたし だいぜんはん こう ひ しょう ちい むし と
私は 40代前半の頃に飛ぶん症（小さい虫が飛んでいるように見える）
とおも がんか じゅしん けっか はくないしょう
と思い、眼科を受診しました。結果、白内障でした。それからずっと眼科
にかよ はじ なん み
に通い始め、何となく見えなくなるのがわかり、だんだんに薄いカーテンの
かげ もの み
影から物を見る、そういう感じになってきました。

それから25～6年がたち、1 m先にいる人の顔が、目鼻立ちはぼんやり
み
見えますが、よく見えなくて本当に困ってました。眼科に行く度に見え
なくなってきたこと、手術はできるのかできないのか、聞いていました。
き せんせい だいじょうぶ めぐすり
聞くと先生は、「まだ大丈夫。目薬をつけてください。」と、その繰り返し
でした。

あるとき、一緒に眼科に行ったヘルパーさんが、
「教会に眼科の先生がいらしているので手術で
きるか」聞いて下さることになりました。早速、
しょうかい しんさつ しゅじゅつかのう たい こ
紹介していただき診察を受け、手術可能と太鼓
ばん
判をおしていただきました。その数日後、手術の
ひ き
日を決めました。



ふつう はくないしょう ぶんぐらい かため お わたし
普通、白内障の手術は3分位で片目が終わるそうなのですが、私の
ばあい のうせいまひ お ぜんしん ちから はい
場合、脳性麻痺で、起きているときはピクピク全身の力が入ってじっとし
ていられない障害なので、わたし ぜんしんますい せんせい ねが きぼう
私は全身麻酔を先生にお願いしたら、希望を
う
受け入れていただけました。

いま み ひと かお けあな み
今まで見えなかった人の顔が毛穴までよく見えるようになりました。
うれ うれ ほんとう せんせい かんしゃ
嬉しくて嬉しくて、本当に先生に感謝しています。
かぞく まわ かた わたし ほんとう かんしゃ
家族と周りの方、私のヘルパーさんなどに、本当に感謝しています。
ほとんど出来ないとき 諦めていたものが出来たのです。

それと、今まで分からなかったもう一つの病気が、右目から発見されました。それは、網膜剥離です。もう一度手術することになりました。それは難しい手術といわれましたが、それも成功でした。8か月のうちに全身麻酔を3回もしましたが、成功でした。

これからも、どんな時も希望を失わず、必ず良い方向に導かれると信じています。

私のような、高齢で、重度の障害があっても手術が成功したのですから、もし白内障とか網膜剥離とか、手術できるような眼病であれば治ります。出来るお医者さんに行き、受診してください。



私は76歳から第2、第3の人生を楽しもうと思っています。

北関東CIL交流会

ながた げんじ
永田 元司

茨城、群馬、栃木の北関東3県の自立生活センターが年に3回程度集まって一緒に研修をしたり、親睦を図ったりしています。7月の交流会はCILとちぎが担当することになり、自立生活センターグッドライフの末永弘さんに「知的障害者の地域生活支援」というテーマで講演していただきました。



講師 末永先生の本

じりつせいかつ じりつ しえん しょうがいしゃ しんだいしょうがい
 自立生活センターが自立を支援する障害者は、身体障害があっても
 じぶん くだ はんたん じぶん せきにな も ぜんてい う い かつ おお
 自分が下した判断には自分で責任を持つという前提を受け入れた方が多い
 なか ちてきしょうがい い しけつてい しえん ひつよう かつがた
 中、グッドライフでは知的障害があり意思決定にも支援が必要な方々の
 しえん せっきょくてき おこな ちいきせいかつ しつげん こん こわたし
 支援を積極的に行っていて、地域生活を実現させています。今後私たち
 ちてきしょうがい かつ かか うえ おお やくだ かんが
 が知的障害のある方と関わっていく上でも大いに役立つのではと考え、
 すえなが まね
 末永さんをお招きしました。



こうえん じっさい かいご ようす えいそう
 講演では実際の介護の様子も映像
 み
 で見せていただき、実際の支援者と
 どうじしゅ かんけいせい
 当事者とのやりとりなどから関係性
 わ
 がよく分かりました。また、知的
 しょうがいしゃ ひとり く
 障害者が一人暮らしやグループホ
 ちいきせいかつ はじ かつてい
 ームで地域生活を始めるまでの過程
 りよう ふくしせいど じぎょうしょが
 や、利用できる福祉制度、事業所が
 かんが こと いちげんてき かんり
 考えるべき事、一元的な管理とな
 かいごたいせい く かつ
 らない介護体制の組み方など、たく

さんこう はなし
 さんの参考になる話をいただきました。かだい
 課題もいくつかあるようでした
 かか かつ しんけん どうにん む あ
 だが、関わる方みんなが真剣に当人と向き合い、より生きやすい生活を作
 あ かん
 り上げていっているのだなと感じました。

こうえん しゅうりょうご すえなが きたかんと うつのみやえき
 講演の終了後には、末永さんと北関東C I Lのメンバーが宇都宮駅
 ひがしぐち ぎょうざや あつ ぎょうざ こうりゅう ほか
 東口の餃子屋さんを集まり、餃子やビールでさらに交流を深めてから
 かいさん
 解散となりました。



こんかいこうえん いちぶ み
 今回講演で一部を見せてもらっ
 たグットライフの利用者さん達の
 えいぞう みちくさ
 映像が「道草」というドキュメン
 タリー映画になったそうです。
 とちぎ しょうえい かんが
 栃木でも上映できたらと考えて
 います。



ひさいしょうがいしゃきゅうえん どうじたはつ がいとほきん おこな
8. 20被災障害者救援 同時多発いっせい街頭募金を行いました
 さいとう やすお
 齋藤 康雄

ひさいしょうがいしゃきゅうえん どうじたはつ
 「8.20被災障害者救援 同時多発
 いっせい街頭募金」を宇都宮 パルコ
 まえ ふたあらしんじんじまえ ひろばまえ
 前、二荒山神社前(バンバ広場前)で
 かいさい いただ
 開催させて頂きました。
 ￥17,850円の募金が集まりました。
 よくじつ がつ にち かせききん にゅうきん
 翌日8月21日、ゆめ風基金に入金
 いただ おお きょうりょく
 させて頂きました。多くのご協力
 ありがとうございました。



かせききん はんしんあわじだいしんさい しぜんさいがい ひさいしょうがいしゃ しえん
 ※ゆめ風基金は阪神淡路大震災から、自然災害の被災障害者を支援
 しつづけている NPO です。全国の障害者運動と永六輔さんをは
 じめ かくかい かたがた よ にん さんか
 じめ各界の方々が呼びかけ人として参加しています。



うつのみやえきしゅうへん

しょうかい だい2だん

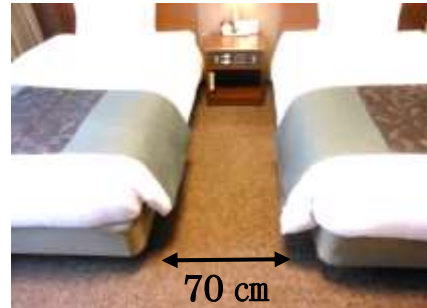
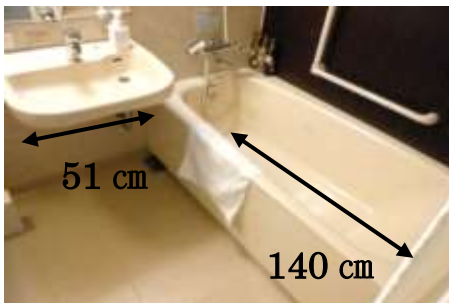
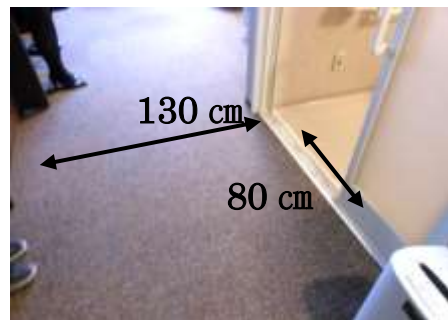
宇都宮駅周辺のバリアフリーホテルご紹介♪第2弾!

せんげつ ひ つづ うつのみやえきしゅうへん しょうかい いただ
先月に引き続き、JR宇都宮駅周辺のホテルをご紹介させていただきます。
うつのみや かた ゆうじん き しゅくはく ときなど さんこう いただ
宇都宮へいらっしゃる方、ご友人が来て宿泊される時等の参考にして頂ければ
おち こんかい けん しょうかいいた
と思います。今回は1件ご紹介致します(*^-^*)



【リッチモンドホテル宇都宮駅前（本館）】

〒321-0964 栃木県宇都宮市駅前通り3-5-12
TEL 028-610-8822 FAX 028-610-8825
～ユニバーサルルーム～



- JR西口
- 禁煙室ではありません
- 車椅子専用ののぞき穴、スイッチ設備
- 部屋は広い感じで、
落ち着いたホテルでした
- バスチェア、マットは別館のアネックス
さんで使用していなければ貸出可能

たいかい かいさいけつてい
CILとちぎバーベキュー大会 開催決定!



ことし
 今年も CIL とちぎのバーベキュー大会を行います。

や 焼いて、 た 食べて、 の 飲んで、 たの 楽しみましょう♪

みな 皆さんの参加をお待ちしています!

にちじ がつ にち ど
 日時： 9月29日(土) AM11:00～

ばしよ じぜん もりこうえん じょう
 場所： みずほの自然の森公園 バーベキュー場

さんかひ おとな えん
 参加費： 大人 800円

ちゅうがくせい えん
 中学生 500円

しょうがくせい い か むりょう
 小学生以下 無料

もうしこみしゆきり がつ にち すい
 ★ 申込締切 9月26日(水)

※お問い合わせ、
 さんか もうしこみ か き ねが
 参加の申込は下記へお願いします。 きてね!

TAL/FAX 028-638-2538

CILとちぎ
 自立生活センターとちぎ

き かん し こうどく かい いん ぼし ゆう ちゆう
機関誌購読会員募集中

じりつせいかつ きかんし ねん かいほつこう こうどく
 自立生活センターとちぎの機関誌 (年3回発行) の購読をしてくれる
 かい いん ぼし ゆう かい いん とうろく かつ
 会員を募集しています。会員として登録してくれた方には、CILとち
 ぎの様々なイベントのご案内もいたします。 ねんかいひ えん
 年会費 300円